
私はすべり症

るう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私はすべり症

【Nコード】

N5245U

【作者名】

るう

【あらすじ】

お尻から大腿部の痛み。……まさか私がすべり症になってしまったなんて思いもしなかったのです。

すべり症になってしまいました……。

前々から肩とか腰とかが痛かったんです。

というか私はもともと肩こりとか全然しない人で、なんかのきっかけで肩もみとかマッサージとかやってももらっても「あ、くすぐったい……」とか思うタイプの人でした。それが、全身がめっちゃ凝ってしまうことになった原因が、バイオリンです……。

私は最近……といってもここ一年ちょっとですか。バイオリンを習い始めました。もともと私が習っていたのは声楽だったので、そこはバイオリンとかピアノも教えてる教室なんですけど、その発表会に行くたびにバイオリンの演奏を聞かされるハメになり、私はハッキリいって苦痛でした。

私はピアノもやってるので、結構音感がいい私にとって、つたないバイオリンは騒音以外の何者でもなかったのです。なんせ、音が外れるのなんて当たり前。すぐ上手な人の演奏で初めて、音程が正確になる、くらいのレベルだったのです。

そりゃもう、苦痛でしたとも……。

そしていつしか私は思ったのです。

私なら弾ける……！！ と（おいこら……！）。

私は音程が分かるし、というのが主となる理由です。とにかく、バイオリンというのは音程を正確に保てるのが上手か下手かの境目というレベルの争いは嫌で、「音程を正確に保てるのなんて当たり前、それよりもっと上にあるものを私なら目指せる！」とまあ……：なんか知らないけど謎の自信で溢れきってバイオリンを始めました。

前置きが長くなりましたが、そんな感じで私はバイオリンとお友

達♪状態になったのですが、それからというものの私の練習量は半端ではありませんでした。

仕事のある日で早番の日は、朝30分ほど。中番のときは1時間。遅番のときは2時間くらい。そして、休みの日に至ってはほぼ一日中練習をしていました。馬鹿ですね……。

なんでこんなにのめり込んでしまったのかはわかりませんが、とにかく私は練習に練習を重ねました。

その結果、肩が痛い……。腰が痛い……。

単純に、身体が凝ってるのかと思ってました。まあ実際そうだったでしょう。

身体じゅうに湿布を貼り、整骨院にまで通うようになります。マッサージが気持ちいい、なんて生まれて初めて思いました。

ところがある日、お尻から下の太ももの辺りが激痛に見舞われました。見舞われたつつーか、朝から結構痛いなあ、痛いなあ、と思ってる、だんだんと息をするのも辛いくらい痛くなり。ほんとに、マジ仕事無理帰りたい。みたいな。ボルタレンSRとか飲んでも全然駄目。ほんつとに痛くて痛くて精神的には瀕死でした……。

「休みの日にでも整形にかかろうかな」と思っていたのですがそんな悠長な事は言ってられない激痛に変わってしまったので、職場の隣の整形にかかりました。

んでレントゲンを6枚ほど（あとで聞いたところによると、一般的には6枚も必要ないとか……）撮りました。この時点では、「まあレントゲンで異常が見つかるようなものでもないだろうなあ。でもなんでもいいからこの痛みに治まってほしい……」とぼんやり思っていました。

そして診察。

まずは触診？ん？違うか？なんか色々な体勢になって、痛いかどうかを申告する診察です。

ちよっと痛いかな？　っていうのでも、とりあえず痛いことにし

てみましたw

その後で結果を聞きました。

いわく、

「これが今回撮った写真。これが5年前くらいね。一度撮ったことあるでしょ。その時はほら……（といってサインペンを手にして背骨にそってマーカーを入れた）、こんな風に背骨は緩いカーブを描いてる。でも今日撮ったヤツはこれ。背骨のところが途中ででっぱってるでしょ。それに、前屈になったときにでっぱりが強くでてるでしょ。これね、すべり症ね。あと、座骨神経痛の症状もでてるから。これ、読んでね（腰痛のパンフレット）。ヘルニアを併発しやすいから、今度MRIね。あと、痛み止めを出しておくから」

もう立て板に水状態で話してくる医者さんに、私はやっと口を挟みました。

「痛み止め。ボルタレンとか全然効かなくて」

できれば座薬が欲しい！！　と思いつつ言った私の台詞に対する返答は……。

「ああ、痛み止めは種類いっぱいあるからね。じゃあモービックにする？　あれはリウマチにも使う薬だから」

ってお医者さんのにはモービックのほうが効くイメージなんだ！

？　と私は驚愕すら覚えました……。私としてはモービックは鎮痛剤としては強力な方ではないというイメージがあるので……。

まあいいですが。

まあそんなわけで、結局、痛み止めは飲まなくても、コルセットしてるだけでずいぶん楽にはなりました。

それ以降、ちよつと重いもの持ったりするとときめんに腰が痛くなって悲惨です……。結構重たいもの持つ作業があるのになあ。

同じ姿勢でずっといると痛いので、パソコンの前に座るのにもかなり怖い感じです……。

すべり症はクセになりやすくて、一回なるともとに戻ってもなん

かの拍子にすぐに滑っちゃうとか何とか……。憂鬱です……。

バイオリンの練習のしすぎでなったのかなあ、と思うと、バイオリンの先生には言いづらいものがあります……。違うといいなあ。

でも結局は、バイオリンの練習量はそんなに減ってないですけどねw

やっぱり、肩とかの痛みのほうがバイオリンの練習には響きます。

そしてそれから、腰痛体操なるものを始めてみました。

腰痛体操とついでに肩などのストレッチ。

三日坊主になればまだマシ、下手したら一日で飽きてしまう可能性もないではなかった（というか過去に何かをやって続いたことはない……w）のですが、意外にも、もう一か月くらい続いています。今ではちよつとメニューを付け加えたりしてます。もっと続いたら、ストレッチだけじゃなくて筋肉の強化みたいな感じのものも取り入れてみようかな、と思います。脂肪たっぷりの身体をもう少しひきしめたいですよ。マッチョは嫌ですが……。

しかし、たかが腰痛（いや、マジ痛かったですけど）といえどこんな病気が隠れていることもあるので、みなさま腰に異常を感じたらとりあえずレントゲンでもとってもらいましょう。

すべり症では、手術が必要になる場合もあるそうです。何事も早め早めの受診が大切ですね。

ちなみに余談ですが、バイオリンは練習の甲斐あって、「あの人始めたばかりですよね？ 随分いい音になってますね？」みたいな事も生徒さんに言われたらしいです。嬉しいです。もっと練習しようっと（そして悪循環）。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5245u/>

私はすべり症

2011年7月3日03時42分発行